

PD 製品デザインコース教員 専門性解説シート

● 氏名 / (NAME) / 役職

安齋 利典 / Toshinori ANZAI / 教授



● 職歴 / 学歴

1982年 千葉大学大学院工学研究科工業意匠専攻修了
 1982年 三菱電機株式会社入社
 2000年 三菱電機フランスデザインスタジオディレクター
 2004年 千葉大学工学部非常勤講師
 2006年 宣伝部デジタルメディアグループマネージャー
 2010年 同ウェブサイト統括センター長
 2014年 千葉工業大学にて博士(工学)取得
 2015年 札幌市立大学デザイン学部教授

● 専門性を示す代表的な作品 / 専門性を表現するイメージ (写真)



オーディオシステム
「北米向けA/V レシーバー HTS-300/100」
1992年



企業ウェブサイトのHCDと統合サイトマネジメント: マネジメントシステム導入の経緯



自動車電話機「DiamondTel」1985年



携帯電話機「Triumシリーズ」2001年



三菱電機オフィシャルサイト 2005~2014年



簡易版カスタマージャーニーマップとサービスフロープリント



デジタル録再機
「32チャンネル・デジタル・オーディオレコーダーX-850」1985年

● 専門性を表すキーワード (5つ以内)

プロダクトデザイン / デザインマネジメント / ヒューマンセンタードデザイン / ウェブデザイン

● これからの製品デザイン分野で重用視されると考えるキーワード (5つ以内)

サービスデザイン / M2M^{*1}・IoT^{*2} / インタラクション / エコシステム / 地域性

*1: M2M: Machine to Machine
 *2: IoT: Internet of Things

● 指導時に主にサポートできる部分 (技術 / 造形 / 表現手法 / ソフトウェア / 思考 / 発想、等)

- ・プロジェクトマネジメントやマネジメントシステムに基づくデザインマネジメント
- ・ヒューマンセンタードデザインプロセスを基本とする「もの」と「こと」のデザイン
- ・ウェブ/インタフェース/プロダクト相互に関係するデザイン
- ・マーケティング、ビジネス視点からのデザイン

● フリーコメント

開発のプロセスであるHCDの考え方に則りつつ、提案する製品デザインの提供価値を、最大化することを研究する。そのために、製品に不可欠な操作系に関しては、今後のM2M、IoT、の発展を鑑み、インターネットを介した操作や製品間の通信等、インタフェースとユーザーエクスペリエンスに関する新しい価値創造をも研究対象とする。また、モノのデザインである製品デザインの延長として、コトのデザインであるサービスデザインについての研究を通し、今後の製品デザインのありようについても研究対象としたい。